

Together



就労支援の詳細はこちら



一般社団法人 巨樹の会

下関リハビリテーション病院

〒750-0064 山口県下関市今浦町9-6 TEL.083-232-5811 FAX.083-232-0219





就労支援プログラムによる 復職達成率 83.3%

(2024/4～2025/5 退院患者12名実績)

就労世代の脳卒中サバイバーは約55万人にのぼり、その復職達成率は全国平均45%程度とされています。当院では医療や介護だけでなく、社会での役割を再び担えるようになることが、真の意味での「回復」であると考え、患者さんの復職達成率を高めるための就労支援プログラムに取り組んでいます。



基本的ADLに関わる検査

検査内容 MMSE(認知能力)、FIM(どれだけ自立した生活が送れるか)、MMT(粗大筋力)、Brunnstrom Stage(麻痺の回復過程)



日常生活に必要な動作を評価する「基本的ADL検査」では、自宅での生活がどれほど自立して行えるかを確認します。食事・更衣・排泄・移動などの基本動作の可否を総合的に判断し、退院後の生活や職場復帰に向けた課題を洗い出す重要なステップです。

歩行機能に関する検査

検査内容 10m歩行速度、6分間歩行距離、FBS(バランス検査)



通勤や職場内での移動を想定した「歩行機能検査」では、安全に移動できるか、持久力やバランス能力が十分かを確認します。実生活に直結した項目でリスク評価を行います。

作業機能に関する検査

検査内容 STEF(上肢の協調性、筋力、バランス評価)、バーデュー・ペグボード、タイピング速度、ドライブシュミレーター



職場での作業動作に対応できるかを調べる「作業機能検査」では、多様な検査を通じて患者さんが現場で必要とされる動作にどれほど対応できるかを測定します。

高次脳機能に関する検査

検査内容 TMT-J(注意・処理速度検査)、CAT(標準注意検査)、CAS(標準意欲評価法)、WAIS-IV(知能検査)



高次脳機能障害は外見で判断しづらく、復職後のトラブルの原因になりがちため、細やかな検査によって正確な把握と適切な支援計画の立案が求められます。

理学療法士からのコメント



就労支援プログラムでは、単に評価や機能訓練を行うだけではありません。企業との連携や職場訪問、退院後の外来リハビリによるフォローアップまで一貫して支援しています。その結果、当院では脳卒中後の復職率が全国平均の約45%を大きく上回る83.3%という成果を上げています。復職に不安がある方も、ぜひお気軽にご相談ください。私たちが全力でサポートします。